NEWS LETTER

遊文通信

2015年10月発行

54

より高次のデザイン＝文字組版めざして

われわれ遊文舎の制作課はDTPにとどまらず、WEBやプログラム開発の専任者との協業でより高品質なものを効率的に制作することを常に追求している集団です。
そのプリプレスの仕事において、あくまでクリエイティブ集団で有り続けようと努力するわれわれの取り組みの一端をご紹介します。

ここ数ヶ月、社長の率先垂範のもと遊文舎の社内体制はドラスティックに変化していますが、制作課も業務部長、マネージャー、リーダーを中心に「より良いものをより効率的に」をテーマに掲げ、試行錯誤しながら変化の途中にいます。

個性に富んだ猛者たち揃いである制作課の面々が同じ方向性を持って先へ進んでいくのも難しい課題ですが、個性があってこそのクリエイティブ課。

皆がみな「お得意先に貢献する素晴らしい製品作り」に対する意欲はブレることなく、時には営業とも意見をぶつけ合い、時には制作内でも刺激を与え合う。それもこれもお得意先と共存しつつ遊文舎が成長する道程の一つと考えています。

まずは、本作りやデザインに欠かせないのは「最新の流行」を知ること。ファッションだけに限らず、紙面デザインの世界でも流行があります。情報収集に必要不可欠なものの１つが「インターネット」。これは現代において、視覚的な情報を得るのに最も手っ取り早い方法です。そしてもう１つが「リアル書店」。ここでは視覚だけではなく、紙の手触りやデザイン、さらに制作以降の後工程である印刷や製本に関しての知識に触覚的な情報をプラスして得ることができます。

最新の情報を得ることによって刺激を受け、実際には活かせなくとも知識もまた財産となり、それをその先に活かすことができると考えています。

こういったことは日常生活の中で自発的に、そして大概は無意識に行っていることです。またその他、通勤電車内で見かける吊り広告、隣の人が手にしている本、日常の何気ない風景のあらゆるシーンに私たちの仕事へのヒントが隠されています。

それから制作課として「垣根をなくす」ことも重要な取り組みと位置づけています。今までは MAC 担当（主にデザイン）、WIN 担当（主に書籍組版）と専門分野によってわけていました。得意分野はそれぞれありますが、元は制作課内でもトップダウン方式だったのをタテヨコ関係なく意見交換し、情報の共有と成長を促す環境作りをしています。

デザイン事務所と制作会社の双方の役割を各メンバーが意識することによって、思わぬ発想が浮かんだりフィールドがひろくなったりします。あくまで使う人の立場にたって考えるのは勿論です。

制作課には３ヶ月前に新人２人が入り、新たな風を運んできてくれました。まだまだ未知数の２人ですが、潜在能力は高いものがあり、大きな期待を寄せています。ベテラン社員にとってもいい意味で「脅威」と「刺激」であるとともに、今までとは別の提案をクライアント様に提供できるものと信じています。

みなさまのご希望に今まで以上にお応えすることができるよう、制作課メンバー一同、さらに研鑽してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

（制作課 宮島）

森岡 真由

出身地　京都府京丹後市　　星座　うお座
血液型　A 型　　年齢　23
得意なデザイン　冊子デザインは好きです
抱負　遊文舎はハイレベルなので、はやく仕事を覚えて頑張りたいと思います

New face

砂原 加奈

出身地　富山県　　星座　ふたご座
血液型　AB 型　　年齢　27
得意なデザイン　前職が派手な折込チラシばかりだったので文字の多い詰め込み系のレイアウトが得意です。
抱負　入社して四ヶ月目。まだまだ indesign が上手く使いこなせないので日々精進していきたいと思います！

株式会社 遊文舎

［大阪本社］
〒532-0012
大阪市淀川区木川東4丁目17-31
TEL：06-6304-9325（代）
FAX：06-6304-4995

［東京営業所］
〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目29-10
TEL：03-5802-3815
FAX：03-5802-3816

http://www.yubun.co.jp/
E-mail info@yubun.co.jp

遊文舎のおしごと

最終回

デジタル事業部&生産管理課のご紹介

Member

『遊文通信 No.45』から連載してまいりました「遊文舎のおしごと」シリーズも今回の第10弾をもって最終となります。全部署を紹介したつもりですが、今回の新事業部のように需要と供給のバランスに対応して日々変化する体制ですので、最終回とはいえないかもしれません。その節はまたご愛読よろしくお願いいたします。

デジタル事業部発足

今年 8 月、新しい部署としてデジタル事業部が発足しました。

従来、制作と製版で別々に出力していたのですが、オンデマンドの需要増にともない、デジタル事業部としてスタッフ・機械ラインを一元化しました。

昨今の印刷事情では印刷技術革新によりもともと潜在的にニーズとしてあった少ロット少部数化・短納期化が顕著に進行しています。これに対応すべく遊文舎でも10年程前からオンデマンドデジタル印刷機を導入しています。

オンデマンド印刷とは、「要求（On demand）に応じて必要な部数を提供する印刷」という意味です。オフセット印刷のような版材が不要で、データを直接コンピューター処理し出力サーバーへ送るだけ、あとは必要部数を入力しセットした用紙にプリント感覚で印刷開始です。印刷予備枚数も必要最少限で済むので ECO ＝地球環境に貢献しています。少部数の生産では高品質・低価格で商品を提供することができます。

他にデジタルの特徴としては

- インクを使用していないため乾燥を待つ必要がなく、印刷後すぐに後工程（断裁、折りなど製本作業）にまわせるため、納期を大幅に短縮できます。
- 改訂・増刷などの依頼があっても、オフセットと違い色の変化が少ないので、同じものをすぐにいつでも印刷できます。

現在、デジタル事業部にはカラー印刷機（C1000Press／C800Press）2 台、モノクロ印刷機（D125LightPublisher／F1100） 2 台があります。いずれも業界最高の性能を誇る富士ゼロックスの機種を揃えています。また近々最新の超高速モノクロ印刷機を 1 台導入し、キャパシティを飛躍させる予定です。

ここ最近の印刷通販（インターネット上で印刷物の商取引が全て完結する仕組み）の急速な普及にともない、遊文舎でも 5 年程前からその一環として「すぐスール .com」を開設しています。上記オンデマンド印刷機をフル稼働し、インターネット受注でお客様へ最短 3 時間で商品をお届けするサービスです。もちろんスピードだけではなく、不完全データへの対応など、ユーザビリティは抜群とリピーターの方々にも好評をいただいています。是非一度、お試しください。

最短3時間で印刷・送料無料
すぐスールCOM

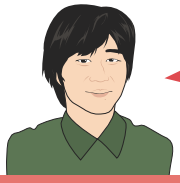
すぐスール　検索

生産管理課との連携

デジタル事業部と緊密に連携している部署が生産管理課です。

短納期が当然となっている各印刷現場では毎日状況がめまぐるしく変化しています。それに対応すべく納品対応や資材発注、外注管理、工程管理、コスト管理などあらゆる情報・状況を一括管理するとても重要な部署です。

いくらオンデマンド印刷機が優秀でも、肝心の印刷用紙がなければどうにもなりません。生産管理課が管理する工程（印刷・製本スケジュール）に従って、必要な用紙を必要な数だけ無駄のないように割り出して調達しています。



ひとつひとつの工程がコストに直結しているので、気を抜かないように頑張っています！

（どい）

● 編 集 後 記 ●

10月31日はハロウィンです。皆さんは、ハロウィンに何かされますか？仮装をしたり、パーティーに参加したり。数年前まで、海外のイベントと思っていたら毎年ニュースで大きなネタになっていますね。ハロウィンの由来を調べてみると日本でいうお盆にあたるそうです。日本では、お盆といえば帰省するというイメージしかありません。海を越えれば、いろいろな風習がありますね。今年の10月31日は土曜日なので、例年以上の盛り上がりがニュースで報道されることでしょう。

（ばっしー）

今月の紙　OK金藤／(93.5kg)